

2025年
被爆80周年

2018年
世界遺産登録
「長崎と天草地方の潜伏
キリシタン関連遺産」

2024年
被団協ノーベル
平和賞受賞

ドキュメンタリー

神の沈黙

キリシタン弾圧と原爆

上映会&トークイベント

8/31 (日)

開場13:00

開演13:30

長崎にある二つの神の沈黙
「キリシタン弾圧」と「原爆」を
音楽宣教師でもある久米小百合が、
視聴者目線で、現地長崎を訪問しながら
その意味を探求していくドキュメンタリー

全席自由席
自由献金あり



監修
山口陽

(東京基督教大学 特任教授)

ナビゲーター
久米小百合
(元久保田早紀)



制作:株式会社ムジカリタ 協力:クリスチャン映画を成功させる会 他

時間:83分 今回はダイジェスト版40分上映



長崎原爆資料館所蔵「被爆した浦上天主堂の側壁(再現造形)」 撮影:株式会社ムジカリタ



●会場:本郷台キリスト教会 〒244-0842 神奈川県横浜市栄区飯島町2441-10
TEL045-894-3311

●主なプログラム
・上映(40分)・久米小百合トークイベント・テーマ曲賛美「この世のなみかぜさわぎ」

●お申込み…下記のURLか左のQRコードからお申込みください。
定員になり次第、受付終了となります。 <https://forms.gle/9uRdt99CVMDWqPPR9>

●共催:本郷台キリスト教会・ライフ・クリエイション(いのちのことば社)

●お問合せ先 〒164-0001 東京都中野区中野2-1-5 Tel.03-5341-6927 Fax.03-5341-6928



・戸塚駅東口(江ノ電バス)から大船駅・平島行で飯島上町下車徒歩5分
・大船駅西口(江ノ電バス)から戸塚駅行で飯島上町下車徒歩6分
・本郷台駅(江ノ電バス)から戸塚駅行で飯島上町下車徒歩8分
・本郷台駅から徒歩25分

長崎にある二つの神の沈黙「キリシタン弾圧」と「原爆」を 音楽宣教師でもある久米小百合が、 視聴者目線で、現地長崎を訪問しながら その意味を探求していくドキュメンタリー



「神の沈黙」とは、宗教上、人々が危機や苦難に直面する時に、全知全能、絶対善の神が、救済を求める人々の祈りに対して姿を現すことなく、何ら救いの手をさしのべず、あたかも『沈黙』しているかのように見えることを意味する。今回ドキュメンタリーの舞台となる長崎には「神の沈黙」が2つあると考えている。1つ目は、遠藤周作原作の小説『沈黙』やスコセッシ監督の映画「沈黙-サイレンス-」によって世界中から注目を集めた「キリシタン弾圧」。そして2つ目は、第96回アカデミー賞(2024年)で、7部門を受賞した「オッペンハイマー」が扱っているテーマ「原子爆弾」。歴史物を扱ったドキュメンタリー番組はたくさんある。しかしキリスト教プロテスタントの視点から歴史を見直してみるドキュメンタリー作品は多くはない。この作品は、久米小百合(元久保田早紀)が、現地でさまざまな人、証言に出会い、神は本当に沈黙しているのかを深堀していく。

Profile

久米小百合 SAYURI KUME



1979～84年、久保田早紀として音楽活動。デビューシングル『異邦人』は国内のポップス音楽を語る上で欠かせないマスターピースとして今でも多くの音楽ファンに愛され続けている。引退後は主にキリスト教会やミッションスクールを中心に、教会音楽家として活動。また、オリーブオイルソムリエの資格をとり、テイスティングと聖書とを結びつけた講座を行っている。

第一章

旅のはじまり

「これは私にとって大きくて、大きくて深く重いテーマではあるのです～」
久米小百合



第四章

禁教下のキリシタン(長崎市外海)

海と山に囲まれ、遠藤周作の「沈黙」の舞台でもある外海。今でもオラショ(祈りのことば)を語れる松川隆治氏の驚くべき証言。外海の多くの人々が五島へ渡った理由を知った久米小百合は五島へと向かう。
…主な舞台/沈黙の碑、祈りの岩、枯松神社、バスチャン屋敷跡、他



第二章

キリシタンときのご雲

原爆が落ちた下には、救しの秘跡に来ていた信者がいた。なぜその上に神は原爆を落とされたのか、教会のミサや原爆式典に出席した久米小百合は、その質問を神父に投げかけた。
…主な舞台/浦上天主堂、平和式典、永井隆記念館、長崎原爆資料館、他



第三章

キリシタンとは?

かつて長崎を風靡したキリシタンの時代。しかし豊臣秀吉の迫害によって、26人のキリシタンが処刑される。そこには12歳、13歳の少年もいた。ここから迫害の歴史が始まっていく。
「本当にことばにならない～」久米小百合
…主な舞台/長崎歴史文化博物館、春徳寺、サント・ドミンゴ教会跡、日本二十六聖人記念館、カトリック三ツ山教会 他



第五章

五島列島～海を渡ったキリシタン

わずか6坪に200人あまりが投獄され、飢え、渴きで42名が亡くなった久賀島、牢屋の窄。この事件の背景には、1865年3月の長崎大浦天主堂での信徒発見があった。「これからバライプに行くから父さんも母さんもさようなら」マリア・タキの言葉に心打たれる久米小百合。
…主な舞台/堂崎天主堂、楠原キリシタン牢屋跡、頭ヶ島天主堂、旧五輪教会堂、牢屋の窄、他



第六章

神の沈黙

久米小百合は、これまでの旅で、何を感じたのだろうか。

神よ、沈黙しないでください。

詩編83:2 (聖書協会共同訳)

歌:この世のなみかぜざわぎ
日本聖公会承認番号2025-052101

